NEWS RELEASE



2018年12月

プリンスホテル長野・群馬エリア

環境保全への取組みについて

軽井沢プリンスホテル(所在地:長野県北佐久郡軽井沢町、総支配人:中野忠昭)をはじめとする長野・群馬エリアのプリンスホテル(長野群馬エリア統括総支配人:徳永清久)では、緑豊かな環境を未来に残し、これからも日本を代表するリゾート地としてこの地域の豊かな環境を存続していくことができるよう、環境保護への取組みを推進しております。

西武グループでは、グループビジョンの一つとして「共に歩むこと」を宣言しており、その一つとして "常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません"というコミットメントを掲げております。 軽井沢プリンスホテルは、2019年6月に開催されるG20「持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境 に関する関係閣僚会合」の会場としても決定しており、今後も設備の見直しやお客さまとともに楽しみながら 取り組むエコ活動など、地域を代表するリゾート施設として、環境保護活動を行ってまいります。

■環境保全への取組内容

1. 自然エネルギーの活用

プリンスホテルでは、2013年より太陽光や水力を活用した自然エネルギーによる発電事業を行っており、 長野・群馬エリアにおいても各施設の特性を活かしたエネルギー活用を実施しております。

- (1) **太陽光発電施設「プリンスエナジーエコファーム嬬恋」運営(2014 年 12 月開業)** →C02 削減効果 年間約 435 t
- (2) **水力発電施設「プリンスエナジーエコファーム軽井沢水力発電所」運営 (2016 年 8 月開業)** →C02 削減効果 年間約 621t
- (3) **温泉熱を利用した館内暖房設備(万座プリンスホテル/2013 年より導入)** →C02 削減効果 年間約 534 t

2. 環境に優しい設備の導入・推進

中長期的な地球環境保護の観点から CO2 排出量・電力消費を抑えた設備の導入に積極的に取り組んでおります。

- (1) **ザ・プリンス ヴィラ軽井沢客室(リビングルーム)** 木くずなどの製材副産物を圧縮した固形燃料「ペレット」を使ったペレットストーブの導入(2014 年 7 月)
- (2) **軽井沢プリンスホテル/軽井沢 72 ゴルフ/軽井沢 浅間ゴルフコース** 電気自動車、電気カートの導入
- (3) **軽井沢プリンスホテルスキー場** シーズン通算約 1,800kWh の電力消費量を削減する、ナイター照明の LED 投光器への更新 1 機あたり 2kWh の電力消費量を削減する降雪機のコンプレッサー更新
- (4) **晴山ゴルフ場**手引きカートの使用



ペレットストーブ(ザ・プリンス ヴィラ軽井沢)



電気送迎カート(軽井沢プリンスホテル)



手引きカート(晴山ゴルフ場)





3. 軽井沢の自然保護活動

(1) ハナヒョウタンボク(絶滅危惧Ⅱ類)生息群生地の管理・維持(「立ち寄りの湯 軽井沢千ヶ滝温泉」敷地内) ハナヒョウタンボクは初夏にスイカズラによく似た白い花が咲き、実の形はひょうたんに似ています。 国内では長野と岩手だけで確認されており、長野県の天然記念物で、環境省の絶滅危惧Ⅱ類に 指定されています。県や町と協働し下草やツルの除去などを行っております。

集めたミニハーブ園を軽井沢プリンスホテルスキー場頂上に造園しております。

(2) 山頂ミニハーブ園造園 (軽井沢プリンスホテルスキー場/夏季営業) 軽井沢の町花でもあるサクラソウが群生するなど、豊かな自然環境が整っている軽井沢プリンスホテルスキー場で、 身近な自然環境に目を向け、自然環境保護の意識を高めていただくことを目的とし、約20~25種のハーブを



初夏に開花するハナヒョウタンボク (立ち寄りの湯 軽井沢千ヶ滝温泉)



ミニハーブ園 (軽井沢プリンスホテルスキー場)

4. お客さまと共に行う活動

(1) 倒木、廃材のリサイクル

敷地内の倒木や、コテージ解体などで出た廃材については、ザ・プリンス ヴィラ軽井沢のテラス等への再利用やこども向け工作教室の材料として有効利用しています。

(2) ノークリーニングサービス

プリンスホテルでは2泊以上ご宿泊のお客さまを対象に、お部屋の清掃、ベッドメイク、リネン類の交換、 歯ブラシなどのアメニティ交換が不要の方は、お申し出によりご宿泊のホテルで利用可能な「館内利用券」を 進呈しています。



ザ・プリンス ヴィラ軽井沢のテラス (写真奥)



工作教室作品 (軽井沢プリンスホテル ネイチャーキッズ森の家)